特集 命を守る。まちを守る。

市民の生命や財産を守るため、毎日厳しい訓練を重ね、突然の事故や災害の発生に備え消防・救急は24時間体制で活動しています。そして昨年、滝川地区広域消防事務組合（以下広域消防）*は設立50周年を迎えました。
今回は、消防の活動に密着したほか、消防団の皆さんへのインタビューを行いました。

消防の1日に密着

8:30～

■勤務交代・車両点検・ミーティング

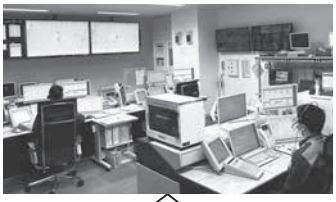
勤務交代を行った後、当日担当（消防隊、救助隊、救急隊）する車両と資材、無線等の点検を実施し、その後ミーティングを行います。

9:30～

■執務

各担当する係の執務を行います。その他に、避難訓練指導、予防査察、消防施設設備点検、救急救命講習などを行います。

22:00～



■通信業務・仮眠

通信指令室では24時間365日、119番通報に対応し、指令業務を勤務員が交代制で行います。

6:00～

■起床・車両整備・無線テスト

庁舎の清掃を行ったあと、各車両の整備や洗車、担当事務の申し送りなどを行います。

人命救助はここからはじまる～消防指令センター～

■消防指令センターとは？

火災や救急・救助などの119番入電から災害活動終了（活動車両の帰署）まで指令を出したり、情報伝達などを行い、現場での一連の流れを効率よく処理するための部署です。

■１日の平均受信回数は？

１日平均～11.02件
2021年の総受信回数～4,025件

■指令センター原田隊員のコメント

私たちは指令管制業務の一つとして、119番通報を受信し、通報内容から場所の特定、出動車両の選定、出動隊への出動指令を出しています。１分１秒でも早く出動指令を出し、消防のサービスが通報者の元へ行き届くように、指令管制業務の研鑽に励みたいと思っています。

■小田部消防士のコメント

広域消防*管内唯一の女性救急救命士として、日常の訓練や現場での活動で日々勉強しています。

災害現場や、救急現場で住民の皆さんに安心していただけるような消防士を目指して頑張っています。

*滝川市・赤平市・芦別市・新十津川町・雨竜町で構成される。

15:00～

■日常訓練

どのような災害が発生しても確実・迅速に対応できるよう、火災・救助・救急の想定訓練を毎日行います。

17:45～

■トレーニング

主に、夕食・休憩以降、日常業務の合間に時間をつくり、各々トレーニングを行います。

火災を防ぐ7つのポイント

1　放火対策
2　寝たばこ・ポイ捨ては厳禁
3　マッチやライターで遊ばせない
4　ストーブ周りの整理整頓
5　配線周りをきれいに
6　コンロから離れない
7　風が強い日にたき火はしない

自分たちで守る～消防団の活動～

Q消防団とは？

消防署と同様に、それぞれの市町村に設置される消防機関です。

地域における消防防災のリーダーとして、地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な役割を担います。

Q消防団が出動するときはどのようなとき？

消防署員で対応困難な場合に消防団員を招集します。例えば火災の発生時、現場で水が足りないときや、火災の規模が大きく延焼しそうな場合などです。他にも自然災害が発生した場合などがあります。

Q消防団員の人数は？また女性の団員の人数は？

定員128名に対して、現在100名です。そのうち女性の団員は６名です。

Q消防団員の平均年齢は？

46.8歳です。

Q団員はどのような訓練をしているの？

月に１度、走行訓練や規律訓練、火災に対する座学訓練を行っています。

Q消防団員をしていて感動したエピソードは？

遭難している人を見つけたときや、出動して帰ってきたとき、近所の人から「ありがとう」と感謝の言葉を言われたときにやりがいを感じました。

ご協力いただいた消防団の皆さん

消防団員募集!!

災害時の出動、火災予防広報活動、教育訓練など積極的に出動できる市内在住の40歳以下の健康な方

問滝川消防署管理課TEL23-1253

消防議会をご存じですか？

■消防議会とは

広域消防*を構成する市や町の議会の代表が集まり、消防の運営や予算などについて話し合う会議のことです。本市からは３人の議員が代表として参加しています。